

断じて許すな！

JRの警察導入を許すな！

前代未聞の暴行 亀戸駅ストへの警察導入は 聞の暴行 明らかな不当労働行為だ！

五月二〇日、亀戸駅における警視庁武装機動隊、防大弾圧し、ストはおろか集会もさせない、何も私服警官五百名のスト破壊大弾圧と、それを要請、導入したJR東日本を、われわれは満こりの怒りをもって弾劾する。

この日、スト拠点亀戸駅では、早朝より私服警官が徘徊し、九時すぎにはおよそ二百名の私服が傍若無尽に歩き廻り警視庁機動隊二百名が駅構内を占拠する。十時すぎにはスト拠点ミルクスタンを占拠する。私服警官が取り囲み封鎖し、大盾をガチャガチャとならし機動隊がホームを、コンコースを行きかっている。

亀戸駅構内は、まさに戒厳令下のように、特高警察のごとき私服どもが闊歩する。この傍若無尽のありさまに、乗客は怒り、「これは一体何んだ、これがJRなのか」とつめよりいたる所で抗議がまき起る。だが、JR千葉支社の職制も、むしろ警官どもも一向に知らぬそぶりだ。

そして、十二時すぎ、スト破壊の絶対命令を受けた二百の私服は、到着する電車に動員者がいると見るやただちに取り囲み、身体がぶつかり合うほどにじり寄ってはわれわれを威嚇する。だが、そんな事で一步ひるむわれわれではない。「何んだ、これは、警察でいいけ」「警察、JR千葉支社のスト破壊を許さないぞ」とただちに抗議をたたきつけ、ホーム上は騒然となる。

五百名をこえる権力をむこうにまわし、ストライキを貫徹！

さらに、権力の弾圧はエスカレートし、十三時をもってストに突入するや、千葉支社職制、私服どもは一体となり排除に打って出たのであった。この権力ふりかざし大弾圧に出た警察にわれわれは一指もふれさせず整然とストに突入し、駅前公園に移動した。すると、機動隊はわれわれを迫りようにして公園を取り囲み、装甲車を前面に出し「ただちに集会を中止せよ」とガナリたて、動労千葉の宣伝カーの停車すら認めようとしなない。こうして権力、JR当局はスト突入前からの予

前代未聞の不当弾圧は敵のあせりの証明

敵は今や、「四・一分割・民営化」体制に完全に破綻し、「一企業一組合」はおろか、あまりのひどさに鉄道労連内部からも革マル憎しの声がかきおこり、「ストのないJR」、国労、動労千葉の絶滅など不可能なばかりか、もはやなりふりかまっていられぬどん底の危機におちいつているのだ。

そんな中、遂に、動労千葉は反撃に打って出た。十八日には当局を圧倒し、組合員二六五名の大結集でストを貫徹した。当局、鉄道労連はわれわれの闘いに打ちのめされてしまったのである。

われわれは、十八日千葉駅、二〇日亀戸駅、二つの闘いに勝利した。闘いは国家権力とのま正面からの闘いとなり、文字通り実力ストライキとして闘いぬかれたのである。われわれは一步もひるむものではない。敵が暴力をもって闘いを押しつぶさんとするのなら、第一波の大勝利に引き続き、第二波、第三波を断固たたかい、実力闘争で粉砕しよう。たたかいこそが不当弾圧を打ち破る道である。

すべての組合員のみなさん。機動隊を導入した千葉支社を許すな。当局と結託する革マル鉄道労連を解体しよう。いざ第二波、二七日、京葉線千葉みなと駅に結集しよう。

第2波ストを決定！
京葉線・千葉みなと駅
17じ30分集合